

令和2年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	家庭基礎「自立・共生・創造」(東京書籍)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

高校生の時期は独り立ちに向かう準備の時期です。家庭科では男女ともに自立した生活者として、何をどのように食べるのか、何を着てどう住まうのか、どのような家族や地域を作るのか、そしてそれらに社会がどう関係し、地球規模での環境問題や生活課題がどうつながっているのかを学習します。そして自分の生活を自分でデザインする力を養いましょう。

2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域社会の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力・技術と実践的な態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ワークシート等の記述 レポートの作成や発表・自己評価	学習状況の観察 ワークシート等の記述 レポートの作成や発表 ペーパーテストの結果	学習状況の観察 実習の技能 ペーパーテスト・実技テストの結果 グループワーク等の記述	学習状況の観察 ペーパーテストの結果 ワークシート等の記述 DVD/VTR鑑賞 実習後の感想

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	自分らしい人生をつくる	○家庭科の学び方 ＊自己紹介とペアワーク ○自分を見つめる ＊自己を知る ＊絵本の読み聞かせ ・生涯発達の視点 ・青年期をどう生きるか ○目標をもって生きる ＊将来の生活を展望する	○	○		○	a: 青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 青年期にある自分を見つめ、課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。 d: 青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 レポート ワークシート 定期考査
5月	自分らしい人生をつくる	○家族・家庭を見つめる ＊家族法クイズ ＊法改正ワークショップ ○これからの家庭生活と社会 ＊ワークライフバランス ＊労働法規	○	○	○	○	a: 家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 事例研究などを通して、家族や家庭の在り方について検討する技術を身に付けている。 d: 生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 レポート ワークシート 定期考査
6月 7月	衣生活をつくる	○被服の役割を考える ＊被服の保健衛生的機能 ＊被服の社会的機能 ＊パーソナルカラー ＊衣生活の計画、マナー ＊エプロン製作 ○被服を入手する、 管理と計画 ＊被服と表示 ＊界面活性剤の働き	○	○	○	○	a: 被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。 d: 被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 製作物 定期考査

8月		<p>○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動</p> <p>* 選択したテーマについて 調査・研究・実践・発表</p>	○	○	○	○	<p>a: ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b: 生活上の課題を見だし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。</p> <p>c: 計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。</p> <p>d: ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。</p>	レポート
9月	食生活をつくる	<p>○食生活の管理と健康</p> <p>○食事と栄養・食品</p> <p>* 献立作成</p> <p>○食生活の安全と衛生</p> <p>○調理の基礎</p> <p>* 調理実習3回 (11月～1月)</p> <p>・計量実習及び洋菓子</p> <p>・和食</p> <p>・洋食</p>	○	○	○	○	<p>a: 食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b: 食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。</p> <p>c: 生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。</p> <p>d: 栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。</p>	<p>授業観察</p> <p>実習態度</p> <p>ワークシート</p> <p>実習計画</p> <p>実習レポート</p> <p>小テスト</p>
10月								
11月								

12月	住生活をつくる	<p>○住生活の機能と変化</p> <ul style="list-style-type: none"> *住まいの役割と気候風土・地域性 *住み方の次代による変遷 *住み方と間取り *平面図の読み取り方 <p>○住まいは暮らしの器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適な住居 *住宅広告を読み取る *一人暮らしに必要な家具、道具、部屋を探す 	○				<p>a:住居と住環境，安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち，意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b:住居と家族の生活，安全で環境に配慮した住生活について課題を見だし，その解決をめざして考え，適切に判断し表現している。</p> <p>c:安全で快適，かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。</p> <p>d:住居の機能，住環境などについて科学的に理解し，安全で快適，かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。</p>	授業観察 ワークシート 実習レポート 小テスト
1月	高齢社会を生きる	<p>○高齢社会の現状と課題</p> <p>○高齢者の心身の特徴</p> <p>○高齢者の暮らし</p> <p>○高齢者を支える社会のしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> *高齢社会を生きる 	○	○	○	○	<p>a:高齢者の生活について関心を持ち，実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b:高齢者の生活について，家族や地域の生活を見つめて課題を見だし，その解決をめざして考え，表現している。</p> <p>c:高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。</p> <p>d:高齢者の生活について理解し，家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。</p>	授業観察 ワークシート レポート 発表 小テスト
2月	子どもと共に育つ	<p>○子どもの育つ力を知る</p> <p>○親として共に育つ</p> <ul style="list-style-type: none"> *子どもの心身の発達 *子どもの生活と保育 *潜在危険(住居・被服) *離乳食 <p>※「親と子ども」ロールプレイ</p>	○	○	○	○	<p>a:子どもの発達と保育について関心を持ち，実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b:子どもの発達と保育について，家族や地域の生活を見つめて課題を見だし，その解決をめざして考え，表現している。</p> <p>c:子どもと適切に関わることができたり，子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。</p> <p>d:子どもの発達と保育について理解し，家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。</p>	授業観察 実習態度 ワークシート 実習レポート

3 月	経済生活を営む・生活を設計する	○これからの消費生活と環境 ○消費者としてできること ○持続可能な社会をめざしたライフスタイル *消費行動から考える	○	○	○	○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理,生活設計について関心を持ち,意欲的に学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 発表 自己評価
		○生涯を見通す	○	○	○	○	b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理,生活設計について,考え,工夫している。	
		○目指すライフスタイルを考える	○	○	○	○	c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理,生活設計を立案するための技術を身に付けている。	
		○生涯を見通した生活設計 *マネープランのシミュレーションゲーム	○	○	○	○	d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理,生活設計のために必要な知識を身に付けている。	
		*生活設計に必要な要素	○	○		○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ *は, ワークショップ, 実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが, 学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。